

施工場所

甲府市障害者センター  
甲府市東光寺一丁目10-25

案内図

冷媒管保温施工要領図

| 施工箇所  | 保温の種別  | 施工例 |
|---|--|-----|
| 天井内、PS内<br>屋外ラッキング内<br>その他いんべい部                         | 1. 架橋ポリエチレンフォーム保温筒<br>2. ビニールテープ                     |     |
| 屋内露出部<br>屋外露出部  | 1. 架橋ポリエチレンフォーム保温筒<br>2. 塩ビ樹脂製保温化粧ケース<br>(必要箇所をビス止め) |     |
| 冷媒管保温厚はガス管20mm、液管10mmとする<br>制御ケーブルは保温筒へ鉄線等で固定する事(ピッチ2M) |  |     |

保温塗装防食仕様

冷媒管保温付空調用銅管(冷媒管保温施工要領図参照)  
ドレン管いんべい部保温付VP管使用  
ドレン管屋内露出部保温付VP管使用  
ドレン管屋外露出部調合ペイント2回塗り、又はカラーVP使用

□「甲府市暴力団排除条例の施行に伴う公共工事からの暴力団排除」を目的として、受注者は、下請負者を用いる場合には、金額・工種の如何にかかわらず、末端の下請負業者まで反映させた、  
「下請施工体系図」を作成し、遺漏・誤謬が無いよう記載内容を十分確認の上、遅滞なく監督員へ提出するものとする。  
また、提出した「下請施工体系図」の内容に変更が生じた場合は、その都度変更するものとし、遅滞なく監督員へ提出するものとする。  
なお、提出は打合せ簿によるものとする。

- 工事写真の取扱い
- ・電子媒体により納品すること。
  - ・納品時には、正副1部ずつを納品すること。
  - ・使用する媒体は、CD-Rとする。ただし、やむを得ない理由がある場合に限り、DVD-Rの使用も可とする。
  - ・電子媒体には以下の情報を明記すること。
  - ・電子媒体に対して必ずウイルスチェックを行うこと。(ウイルス対策ソフトは特に指定しないが、最新のウイルスも検出できるように最新のデータに更新したものを利用すること。)
- |                 |                                     |            |                   |
|-----------------|-------------------------------------|------------|-------------------|
| A. 工事名称         | B. 工事場所                             | C. 契約番号    | D. 発注者担当部署名称      |
| E. 請負者名称        | F. 作成年月                             | G. 何枚目／総枚数 | H. ウイルスチェックに関する情報 |
| I. CD-Rフォーマット形式 | J. 電子媒体の内容の原本性を証明するために、直接署名又は捺印を行う。 |            |                   |
- ・電子納品される写真データは、PDF形式、エクセル等で編集したもので、従来の印刷物写真と同様な確認ができるものとする。
  - ・写真データは、工種種別、撮影項目毎に分類し、工事の進捗に合わせて編集し、容易に確認できるファイル名・フォルダ名を付して整理すること。
  - ・工事写真の検査は、電子データで検査することを原則とするが、印刷物または電子データと併用で検査することも可能とし、その範囲は受発注者との協議による。
  - ・検査に使用する機器の準備と操作は、受注者が行うことを原則とする。
  - ・やむを得ない理由により、電子納品できない場合は、受発注者との協議により、従来の印刷物による納品も可とする。
  - ・ここに定めなきことは、受発注者との協議により決定する。

□再生資源利用計画(実施)書及び再生資源利用促進計画(実施)書の提出(請負金額100万円以上の工事)  
請負者は国土交通省のホームページから「建設リサイクル報告様式(計画書・実施書)(EXCEL様式)」の最新バージョンをダウンロードし、作成出力した再生資源利用計画書及び再生資源利用促進計画書を出し、1部(紙)を施工計画書に添付し監督員に提出するものとする。(以前より使用していたクレダスを使用した様式での提出はH30センサスに対応していないため不可)  
工事完了後は速やかに、当初入力した工事データを実績値に修正した再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書を出し、1部(紙)を完成書類に添付し、また、電子データを電子媒体(CD、DVD等)により監督員に提出するものとする。なお、入力した電子データは自社で1年間保管するものとする。  
※入力時の最新版を国土交通省のホームページからダウンロードして入手すること。(URL [http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/recycle/d03project/d0306/page\\_03060101oredasitop.htm](http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/recycle/d03project/d0306/page_03060101oredasitop.htm))

□工事カルテに関する特記仕様(請負金額500万円以上の工事)  
受注者は、工事実績情報サービス(CORINS)入力システム((財)日本建設情報総合センター)に基づき、受注・変更・完成・訂正時に工事実績情報として「登録のための確認お願い」を作成し監督員の確認(機関印または監督員の記名・押印及び電子メールアドレスを記入)を受けたうえ、(財)日本建設情報総合センターに登録申請するとともに、「登録内容確認書」の写しを監督員に提出しなければならない。  
提出の期限は、以下のとおりとする。  
①受注時登録データの提出期限は、契約締結後10日以内(土・日曜日及び祝日等を除く)とする。  
②完成時登録データの提出期限は、業務完成後10日以内とする。  
③業務履行中に、受注時登録データの内容のうち、「工期」または「現場代理人」または「監理・主任技術者」に変更があった場合は、変更があった日から10日以内(土・日曜日及び祝日等を除く)に変更データを登録申請しなければならない。工事請負代金のみ変更の場合は、原則として登録を必要としない。ただし、工事請負代金2,500万円を超えて変更する場合には変更時登録を行うものとする。  
④訂正時は、適宜登録機関に登録申請をしなければならない。

□法定外の労務保険付保  
本工事において、受注者は法定外の労働保険に付さなければならない。

□本工事は、週休二日制工事の適用とする。詳細は、市ホームページ参照

|             |                    |  |  |  |  |             |       |                         |    |   |
|-------------|--------------------|--|--|--|--|-------------|-------|-------------------------|----|---|
| <div></div> | まちづくり部 まち整備室 建築営繕課 |  |  |  |  | 縮 尺         | 1/300 | 工事名称 甲府市障害者センター空調設備更新工事 | 01 | M |
|             |                    |  |  |  |  | 設計年月日 R6.10 |       | 図面名称 案内図・配置図            |    |   |

No.



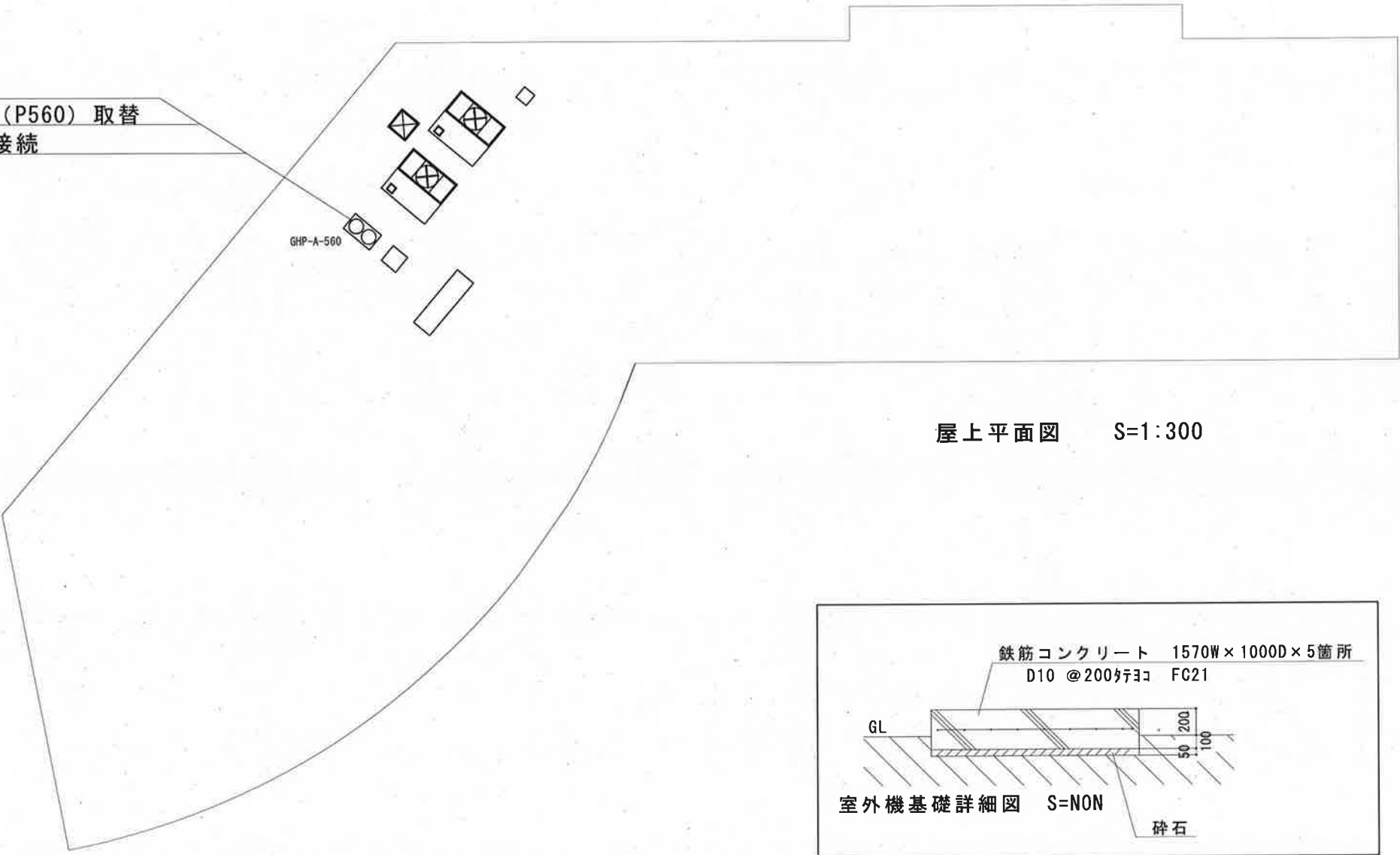
| 特記仕様書 |  |  |  |
|-------|--|--|--|
| 工事名称  | 甲府市障害者センター空調設備更新工事   |  |  |
| 工事場所  | 甲府市東光寺一丁目10-25   |  |  |
| 工事範囲  | 設計図書・工事契約書に依る。   |  |  |
| 一般事項  | <div>1．本工事は全て、図面・本仕様書及び標準仕様書（国土交通大臣官房庁営繕部監修　公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）・同標準図最新版）に基づき、諸官庁関係法規に準拠して施工する。</div> <div>2．本工事に於いて、図面・本仕様書に疑義が生じた場合やそれに明記なき場合でも、技術上・維持管理上当然必要なものは、係員と協議の上読実に施工するものとする。　但し、その費用は請負者の負担とする。</div> <div>3．本設計図は工事概要を示すものであるから、請負者は十分なる理解の上、工事着工に先立ち工程表、施工計画書、材料承諾願図、施工図等を提出し係員の承諾を得ること。</div> <div>4．本工事に於いて、契約後速やかコリンズ登録を行うこと。またCREDAS（最新版）を用いての再資源利用計画・実施書の提出を行うこと。</div> <div>5．本工事に伴う関係諸官庁等への申請及び手続きは遅滞なく行うこと。ただし、その費用は請負者の負担とする。</div> <div>6．本工事請負者は工期内に工事を完成させ、同時に完成書類一式を提出し、検査を受けなければならない。</div> <div>7．本工事請負者は工事完成引き渡し後も施工方法、器具類の不良等に起因する事故に対しては責任を持って修復しなければならない。</div> <div>8．維持管理面を十分考慮し施工に当たること。</div> <div>9．本工事施工に際して、事前に管理者と打合せを行い工程を作成すること。</div> <div>10．本工事期間中、利用者及び管理者の安全に注意して施工すること。</div> |  |  |
| 工事項目  | <div>1．空調機器設備工事                3．都市ガス設備工事                5．電気設備工事</div> <div>2．空調配管配線設備工事            4．建築改修工事                6．既設機器撤去工事</div>  |  |  |
| 優先順位  | <div>1．法令・政令・規則等の定め及び指導</div> <div>2．特記仕様書</div> <div>3．設計図書</div> <div>4．国土交通大臣官房庁営繕部監修　公共建築工事標準仕様書（機械・電気設備工事編）　最新版</div>   |  |  |
| 工事概要  | <div>1．空調機器　設備工事</div> <div>      本工事は、図示の位置へガスヒートポンプエアコンを設置する。</div> <div>2．空調配管配線設備工事</div> <div>      本工事は、空調機器設置に伴う冷媒管、ドレン管工事及び室内機電源供給（室外機部分より）、室内外機間制御配線、リモコン配線工事を行う。</div> <div>3．ガ　ス　　  設備工事</div> <div>      本工事は、空調用室外機を駆動させる熱源としてのガス供給工事を行う。</div> <div>      内容としては、道路内都市ガス本管より新規にガス管を引込み各室外機へガス配管を行う。</div> <div>      尚、ガスメーターは空調用と空調以外で別々に設置する。（空調以外は既存メーター再使用）</div> <div>4．建　築　　  改修工事</div> <div>      本工事は、空調機設置に伴う建築関連の改修を行う。　内容としては、天井材撤去新設及び窓部分のアルミパネル化を行う。</div> <div>5．電　気　　  設備工事</div> <div>      本工事は、空調用一括電源（室内、室外機共）を室外機へ供給する工事を行う。</div> <div>      また、室内機と既存照明器具との納まりが悪い部分についての照明器具の移動も行う。</div>   |  |  |

|          |  |  |  |
|----------|--|--|--|
| 特記事項     | <div>1．機器類に使用する鋼製架台等は、溶融亜鉛メッキ仕上のものを使用すること。</div> <div>2．配管配線工事に伴う既存壁等のコア抜きはダイヤモンドカッターを使用すること。</div> <div>3．冷媒管口径については参考の為、使用メーカーに対応出来る仕様とする。</div> <div>4．文字標識等は監督員と打ち合せの上表示する。</div> <div>5．工事に必要な各種申請手続きは、全て本工事にて行うこと。</div> <div>6．材料の加工は出来る限り建物外で行うこと。</div> <div>7．設備配管に伴う既存壁等のはつり補修は、本工事施工のこと。（仕上げ補修共）</div> <div>8．機器類搬入経路及び設置工事範囲は、床養生を行うこと。</div> <div>9．屋内配管の支持は全て上階コンクリートスラブより行うこと。　天井下地には支持しないこと。</div> <div>10．屋内配管ルート上及びエアコン室内機部分の天井は本工事にて撤去、新設すること。</div> <div>11．ドレン管はVP管とし、ジャバラホースは絶対に使用しないこと。</div> <div>12．ドレン管は適正な勾配が確保できる場合は、冷媒管化粧ケース内に納めても良い。（保温はいんべい仕様にて施工）</div> <div>13．配管貫通孔（コンクリート部）の穴埋めはモルタル等を使用し、仕上げ処理は貫通部周りと同一仕様とする。</div> <div>14．室外機の防振は、防振ゴムパットを使用する。（詳細は基礎詳細図参照）</div> <div>15．2階より上部の外壁面（ベランダより施工可能部分を除く）配管施工は原則として高所作業車を使用し、車両進入不可能部分のみ外部枠組足場とする。</div> <div>16．配管支持間隔は冷媒管2m以下、ドレン管1m以下とする。（一般吊り棒鋼使用）</div> <div>17．冷媒管はチッ素ガス又は乾燥空気にて気密試験を行い、結果を報告書として写真添付の上提出すること。</div> <div>      試験圧力は製造者の設計圧力以上（4MPa程度）とし、24時間放置し漏れの無いことを確認すること。</div> <div>      また、真空引きも行うこと。</div> <div>18．図面上のリモコン位置は参考とし、学校側に確認の上決定とする。</div> <div>19．リモコン配線の露出立下り部分は、メタルモール内に納める。</div> <div>20．工事完了後試運転調整を行い、良好な冷暖房運転（吹出温度、気流分布、異音の有無等）を確認後引渡しとする。</div> |  |  |
| 凡例       | 冷　媒　管  | ―― R ―― $\phi$                                   | 保温付銅管          J I S - H - 3 3 0 0                             |
|          | ドレン管   | ―― D ―― V P                                      | 硬質塩化ビニル管      J I S - K - 6 7 4 2 （ V P ）       露出部分はカラー V P 可 |
|          | ガ　ス　管  | ―― G ―――   | 東京ガス仕様品（東京ガス責任施工）  |
| メーカーリスト  | 配管、継手類   | J I S 及び J W W A 規格メーカー                          |  |
|          | 冷暖房エアコン  | ヤンマー          ダイキン          アイシン          パナソニック |  |
|          | 上記及びそれ以外のものについても、材料承諾願図による係員の承諾を要す。  |  |  |
| 保温塗装防食仕様 | 冷　媒　管  | 別紙冷媒管保温施工要領図参照                                   |  |
|          | ドレン管   | いんべい部  | 保温付 V P 管使用  |
|          | ドレン管   | 屋内露出部  | 保温付 V P 管使用  |
|          | ドレン管   | 屋外露出部  | 調合ペイント2回塗り又はカラー V P 管使用  |
| 提出書類     | 別途指示するものとする。   |  |  |

|  |  |  |  |  |         |                    |             |    |          |   |
|--|--|--|--|--|---------|--------------------|-------------|----|----------|---|
|  |  |  |  |  | 工 事 件 名 | 甲府市障害者センター空調設備更新工事 |             |    | 図番<br>02 | M |
|  |  |  |  |  | 図 面 名 称 | 特記仕様書              | 設計<br>R6.10 | 縮尺 |          |   |

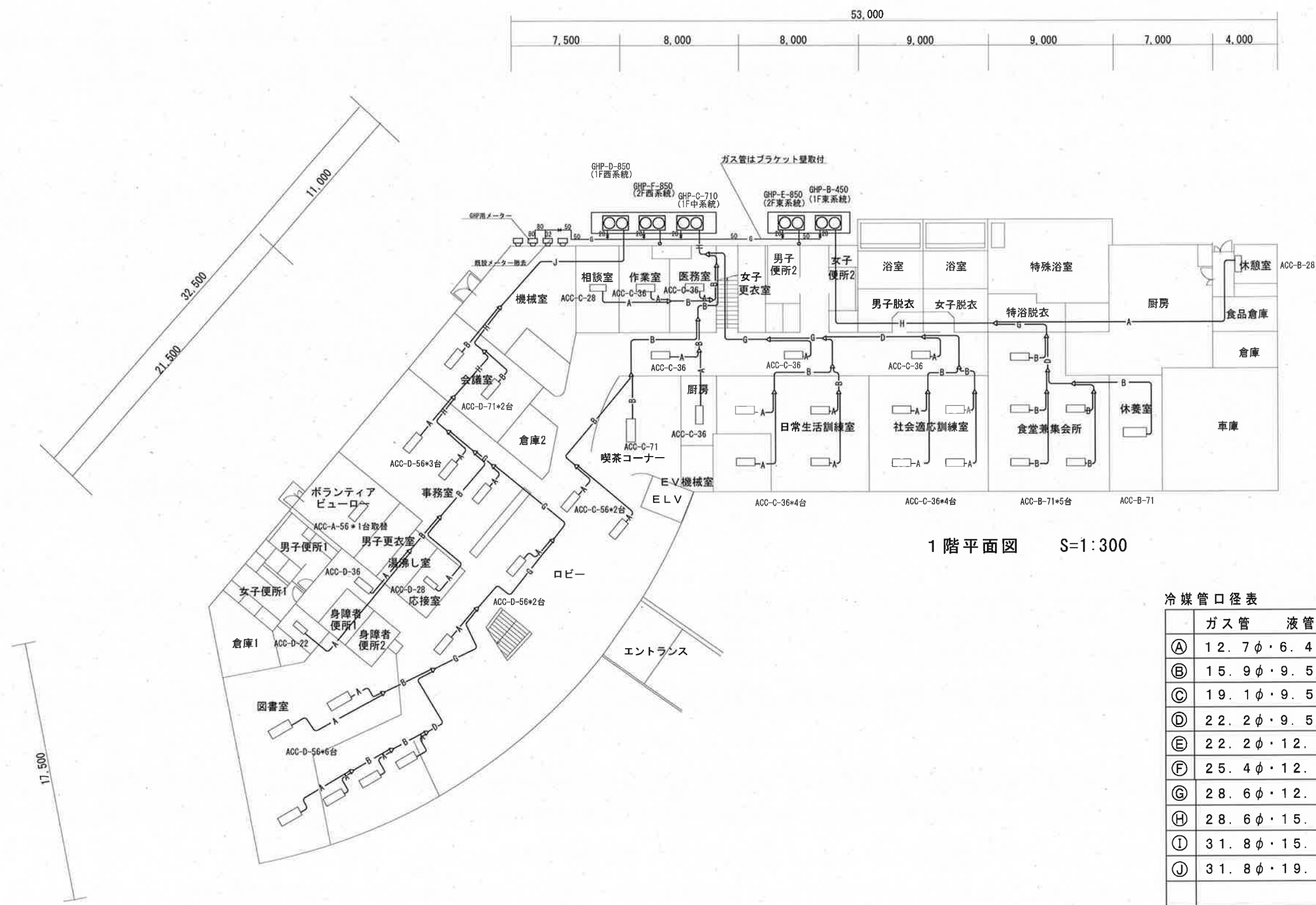


工事施工箇所：屋上  
ガスヒートポンプエアコン（P560）取替  
既設ガス管接続・既存電線接続



|  |        |       |       |  |         |                    |             |             |               |
|--|--------|-------|-------|--|---------|--------------------|-------------|-------------|---------------|
|  |        |       |       |  | 工 事 件 名 | 甲府市障害者センター空調設備更新工事 |             |             | 図番<br>03<br>M |
|  | まちづくり部 | まち整備室 | 建築営繕課 |  | 図 面 名 称 | 屋上平面図              | 設計<br>R6.10 | 縮尺<br>1/300 |               |



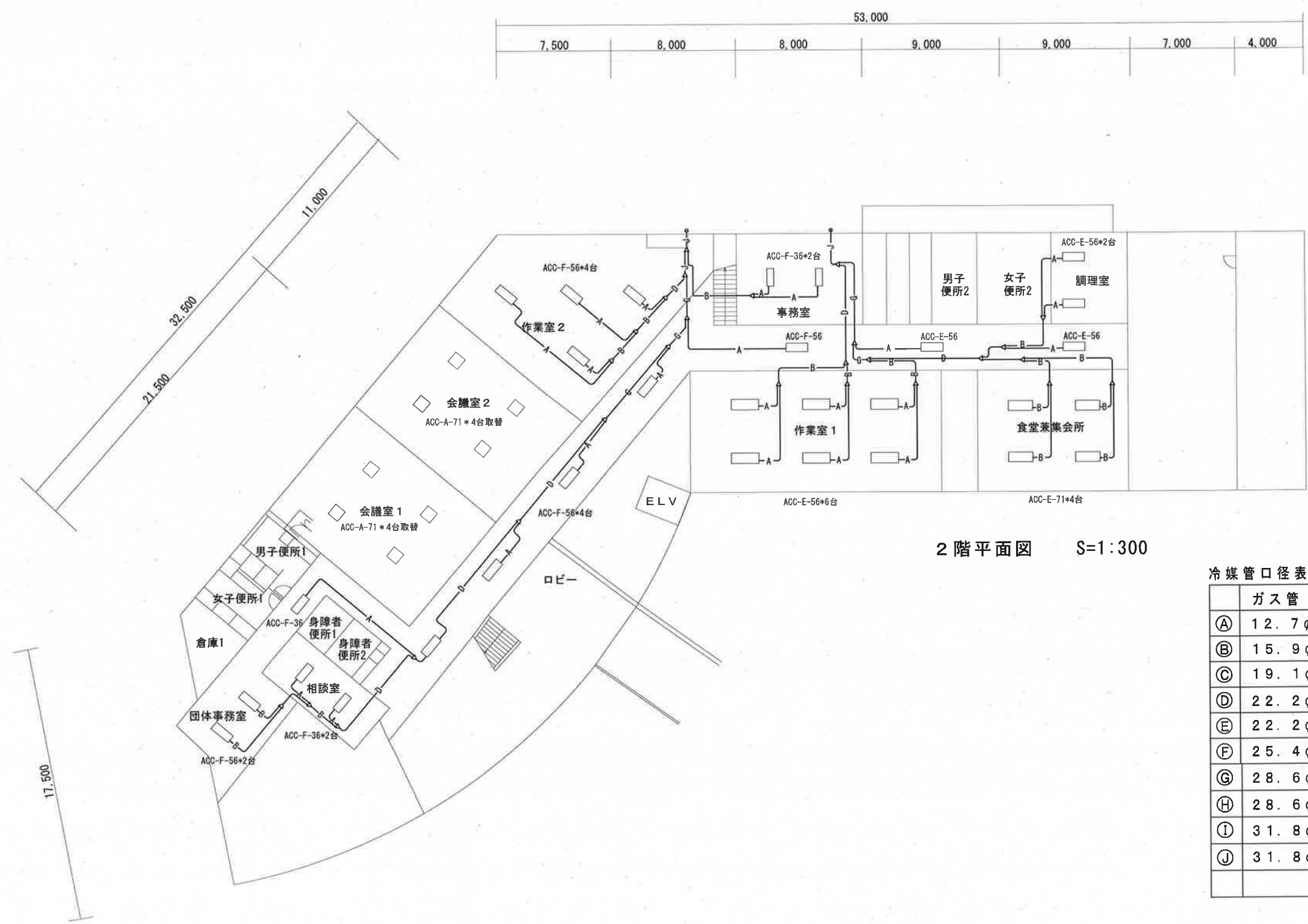


1 階平面図 S=1:300

| 冷媒管口径表 |       |       |
|--------|-------|-------|
|        | ガス管   | 液管    |
| Ⓐ      | 12.7φ | 6.4φ  |
| Ⓑ      | 15.9φ | 9.5φ  |
| Ⓒ      | 19.1φ | 9.5φ  |
| Ⓓ      | 22.2φ | 9.5φ  |
| Ⓔ      | 22.2φ | 12.7φ |
| Ⓕ      | 25.4φ | 12.7φ |
| Ⓖ      | 28.6φ | 12.7φ |
| Ⓗ      | 28.6φ | 15.9φ |
| Ⓘ      | 31.8φ | 15.9φ |
| Ⓙ      | 31.8φ | 19.1φ |

※ドレン管は既設ファンコイルユニットのドレン管に接続し、保温の補修を行う。





2 階平面図 S=1:300

冷媒管口径表

|   | ガス管   | 液管    |
|---|-------|-------|
| Ⓐ | 12.7φ | 6.4φ  |
| Ⓑ | 15.9φ | 9.5φ  |
| Ⓒ | 19.1φ | 9.5φ  |
| Ⓓ | 22.2φ | 9.5φ  |
| Ⓔ | 22.2φ | 12.7φ |
| Ⓕ | 25.4φ | 12.7φ |
| Ⓖ | 28.6φ | 12.7φ |
| Ⓗ | 28.6φ | 15.9φ |
| Ⓘ | 31.8φ | 15.9φ |
| Ⓙ | 31.8φ | 19.1φ |

※ドレン管は既設ファンコイルユニットのドレン管に接続し、保温の補修を行う。